ESGデータ

環境データ

脱炭素に向けた取り組みの進捗

項目	目標*3	単位	2023年度（基準）	2025年度実績	2025年度進捗状況
GHG総排出量 Scope1、Scope2（マーケット基準）、Scope3*1*2	2050年度カーボンニュートラル	tCO_2e	1,086,207	903,214	—
GHG排出量 Scope1、Scope2（マーケット基準）*1	2030年度50%削減（2023年比）	tCO_2e	45,125	18,849	58.2%減
GHG排出量 Scope3*1	2030年度25%削減（2023年比）	tCO_2e	1,041,082	884,365	15.1%減
総エネルギー使用量*1	30%削減（2023年比）	GJ	574,242	431,678	24.8%減
再生可能エネルギーの導入率*1	2030年100%	%	9.2	22.6	22.6%

*1 集計範囲：博報堂DYホールディングスとその連結子会社
*2 2025年度の環境データの一部について、第三者保証を取得しています。
*3 SBTi（Science Based Targets initiative）への認定申請のため、GHG排出削減目標の基準年を2023年度に変更しました。

廃棄物

項目	目標	単位	2019年度（基準）	2025年度実績	2025年度達成状況
廃棄物発生量*1	平均50%以上削減を維持（2019年比）	トン	486	247	49.2%減
リサイクル率*1	85%以上	%	82.2	72.7	72.7%

*1 集計範囲：博報堂本社（赤坂Bizタワー）

社会データ

ジェンダー平等における目標数値の進捗

項目		2023年度	2024年度	2025年度
女性管理職比率*1	国内*1	13.1%	13.8%	15.2%
	海外*2	52.5%	49.7%	51.7%
	国内海外合算*3	30.6%	30.8%	29.9%
男性の育児休業取得率*1		74.3%	88.7%	100.0%
男女の賃金の差異*4		70.0%	72.7%	72.3%

*1 博報堂、大広、読売広告社、Hakuhodo DY ONE、ソウルドアウト、博報堂テクノロジーズ（2024年度以降）、オプト（2025年度のみ）
*2 HIU、kyu（2024年度以降）
*3 集計期間:海外の2023年度は2023年11月30日時点、2024年度は2024年12月31日時点、2025年度は2025年12月31日時点
*4 博報堂

サステナビリティに関する外部評価

環境調査による評価・コミットメント

CDP気候変動質問書*1 **評価B**
CDP SEA **評価A**

ESG投資指数構成銘柄に選定

FTSE4Good Index Series*3
FTSE JPX Blossom Japan Index*4
FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index*5

FTSE4Good
FTSE JPX Blossom Japan Index
FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

サステナビリティに関する評価

Sustainalytics ESG Risk Ratings*2
Low Risk

*1 CDP：企業に対して気候変動への対応戦略やGHG排出量に関する情報公開を求める、機関投資家と連携したNGO
*2 Sustainalytics ESG Risk Ratings：米国モーニングスターグループ傘下のSustainalytics社によるESGのリスク評価
*3 FTSE4Good Index Series：ロンドン証券取引所グループのFTSE Russellが開発したESG（環境、社会、ガバナンス）投資の世界的な指標
*4 FTSEJPX Blossom Japan Index：ESGに対して優れた日本企業を評価するもので、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用しているESG投資指標の1つ
*5 FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index：各セクターにおいて相対的に、ESGについて優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計された指標

サステナビリティに関するイニシアティブへの参画

国連グローバル・コンパクト*1

COMMUNICATION ON PROGRESS

SBTi（Science Based Targets initiative）*2

2026年4月にSBT認定を取得しました。

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

女性のエンパワーメント原則（WEPs）*3

2024年に博報堂DYホールディングスとして署名を行いました。

In support of:
WOMEN'S EMPOWERMENT PRINCIPLES
Established by UN Women and the UN Global Compact Office

*1 各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組みで、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野・10原則を提唱
*2 2015年に設立された国際的な共同イニシアティブで、CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）によって運営されている。企業が設定するGHG排出削減目標が、パリ協定で定められた「産業革命前からの気温上昇を1.5°Cに抑える」という目標に合致するかどうか、科学的根拠に基づいた検証・認定を行っている
*3 国連グローバル・コンパクト事務所とUN Womenが共同で作成した、女性の活躍推進に自主的に取り組む企業の7つの行動原則

詳細 ▶ WEB ESGデータブック